



最後はハイタッチでお見送り

愛西市立佐織西中学校

1年 石原 千聖

今回の「消防学校1日入校」を通してわかったことは、災害が起きたときのために準備や訓練をしておくことの大切さ、それから消防士やそれに関わっている人がどれだけ大変かということ。私の家は、非常持ち出し袋が用意さ

れています。「ちゃんと用意してあるから」と私たち家族は安心していました。でも、私たちができる「災害に対する備え」はまだあることを、消防士さんに教わりました。家具の固定、避難場所の確認などは、私にもできます。しっかり備えて、災害時、自分の命、家族の命を守るようにしたいです。消防士さんは、とてもフレンドリーで優しい人ばかりでした。でも、規律体験など、遊びやゲームでないときは、厳しく教えていただきました。その姿は、頼りがいがあり、「何かあったらこういう人たち」が助けてくれるのだな」と思ったらすごく安心しました。命に関わる仕事の

ため、消防士さんは厳しい訓練を受けていることもわかり、「消防士」という仕事の大変さがよくわかりました。私は今回の体験で、人を助けることの大変さと共に、人を助けるには強い体や心が必要ということを感じました。私もいろんなことを経験して、大人になったときに「人を助けられる人」になりたいです。

